

全史料協関東部会第 318 回定例研究会のお知らせ

日時：令和 5 年（2023）8 月 21 日（月）14:00-16:00

会場：かながわ労働プラザ 第 3 会議室

テーマ「学校現場が求めるアーカイブズとの連携とは」

開催趣旨

2018 年 3 月に高等学校の新学習指導要領が告示された。同要領において、高等学校地理歴史科に「歴史総合」「日本史探究」の科目が設置され、そこでは博物館や公文書館等の資料保存機関との連携が重視される。

アーカイブズと学校との連携については、これまでも各機関で様々な実践が積み重ねられてきたことは周知のとおりである。また同様に学校現場でも種々の蓄積がある。連携の強化が期待される現在において、両者で課題などの情報を共有し、そのあり方について考えておく必要がある。

そこで本定例研究会では、鎌倉学園中学校・高等学校で教鞭をとる風間洋氏より、当該問題にかかる昨今の学校現場の動向、授業の実践例、学校現場が望む連携のあり方についてご報告をいただく。また埼玉県立文書館の新井浩文氏よりは、種々の学校連携事業を展開してきた同館の取り組みを交えて、風間氏の報告にコメントをいただく。両者の報告を通じて、教育現場とアーカイブズが情報の共有をはかり、今後の連携のあり方を考える場としたい。

●報告者：風間 洋氏（鎌倉学園中学校・高等学校）

●コメント：新井浩文氏（埼玉県立文書館）

当日のスケジュール

- | | |
|-------------|-------------------|
| 13:30～ | 参加者受付 |
| 14:00～14:05 | 定例研究会開始、開会挨拶、趣旨説明 |
| 14:05～15:05 | 風間氏報告 |
| 15:05～15:25 | 新井氏コメント |
| 15:25～15:35 | 休憩 |
| 15:35～15:55 | 質疑応答 |
| 15:55～16:00 | 次回告知、事務連絡 |
| 16:00 | 定例研究会終了 |